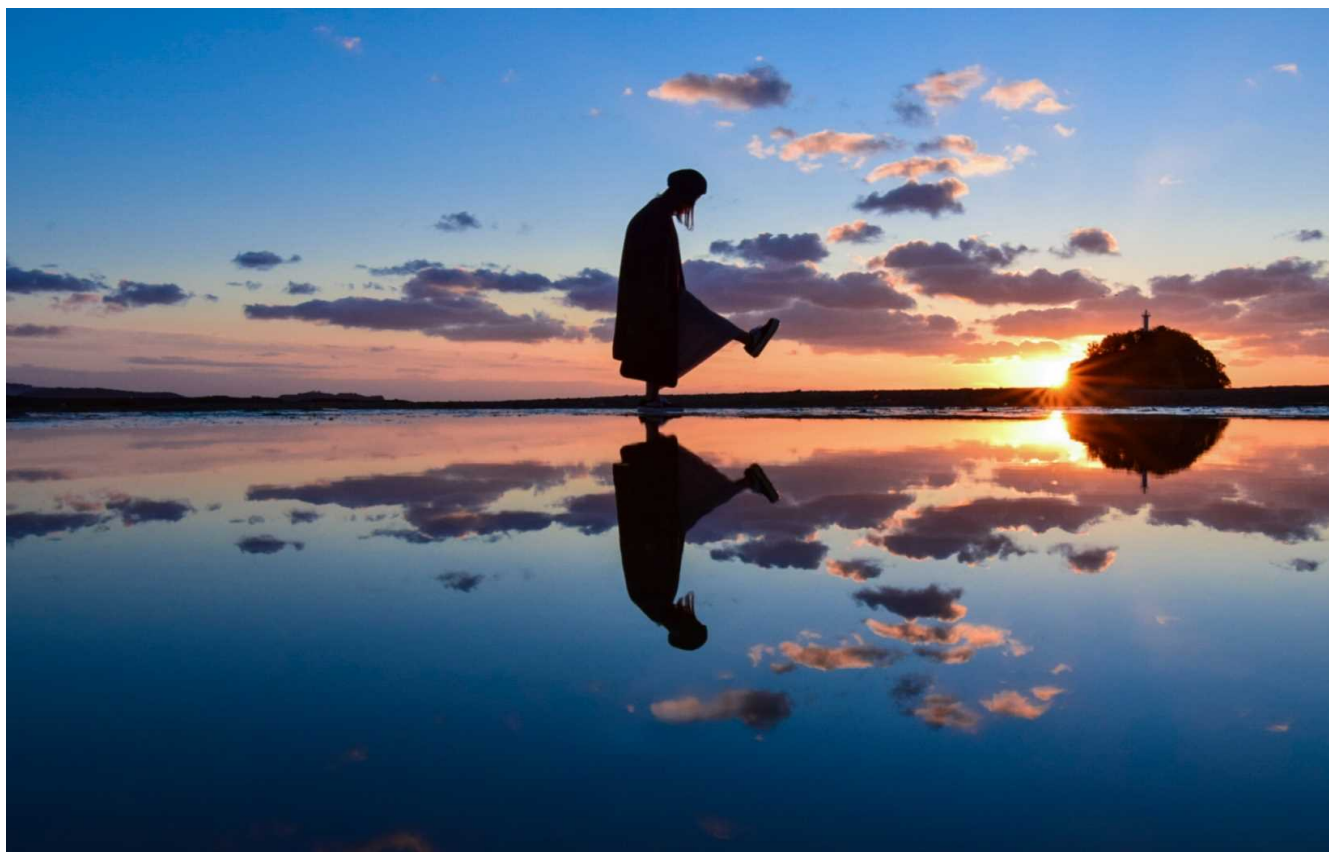


和歌山だよい

令和4年 1月号
(2022)



天神崎 (田辺市)

「天神崎」は、田辺湾の北側に突き出た岬で、「日和山」を中心とする緑豊かな20haの丘陵部と21haの平らな岩礁で形成されています。潮位が150～140cm程度になると岩礁に溜まった水が綺麗に反射し、南米のボリビア西部にある「ウユニ塩湖」のような美しい景色を見ることができます。

(写真提供: 公益社団法人和歌山県観光連盟)

CONTENTS

1. 知事メッセージ..... P1
2. 和歌山県政トピックス.. P2～P15
3. お知らせ..... P15～P21
4. ふるさと歳時記..... P22



2つの総点検

災害は忘れた頃にやってくるという^{ことわざ}諺がありますが、至言だと思います。災害の時のことをいつも思い出し、考えながら、常に対策と心構えを怠らないことが大事です。その時、将来起こりそうなことを予測し、対策を立てておくことは、人間の能力に限りがあるので、かなり難しいと思います。しかし、起こったら、それを教訓に、二度と起こすまいと対策を整備しておくことはそんなに難しいわけではありません。また、他で同じような事が起こらないか、災害の教訓を生かして考えることも大事であります。この見地から、和歌山県では、最近2つの総点検を全県的に実施しています。

1つは、令和3年7月3日、熱海市伊豆山地区で発生した盛土の崩壊による土砂災害です。報道などでだんだんと分かってきたことですが、安全対策を怠った業者もいけないと思いますが、それを看過してきた県や市の規制や監督もおよそ行政の体を成していないと思います。和歌山県では、近年規制を強化して監督をしていますので、今あれほどのことを見逃しているとは思えないのですが、それでも忘れられてきた危ない盛土はないか、全県的にチェックを行いました。住民の皆さんの申し出や衛星観測など科学技術の助けも借りて、徹底的にチェックを行いました。

また、和歌山市の水管橋の落下は、和歌山市を中心に国も県も産業界も協力して応急復旧から本格復旧に進みつつありますが、全県で同じような事が起きないか、水道のみならず全ての生活インフラで他にこのような脆弱な設備はないか、また、もしその設備が壊れた時、ほかの手段でその脆弱性をカバーする仕掛けがあるかどうか、県が中心となって市町村、国、民間インフラ企業も入ってもらって、徹底的に調査を行っています。

我々は全能ではありませんが、何か災害が起こり悲劇が生じた時、そこから学び、他の問題も想像し、そのことへの備えを行うことは可能です。そこまでやるか否かは、それによって県民の安全を守ろうとする意志の問題であります。

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸



12/9 議場にて

●有田 IC～印南 IC の 4 車線化工事が完成しました

このたび、近畿自動車道紀勢線有田 IC～印南 IC の 4 車線化工事が完成し、12月18日から供用を開始しました。

当区間は、全国有数の交通量を有し、昨年のお盆には、有田南 IC 付近で約 30 km の渋滞長を記録するなど、慢性的な渋滞が問題となっていました。また、2 車線の高速道路であるため、対向車線に車両が逸脱し、正面衝突になるなどの重大事故が発生するリスクが高い状況にありました。



慢性的な渋滞が解消されました

4 車線化により、重大事故発生リスクが低減されるとともに、渋滞が解消されることに伴い、定時性の確保はもちろんのこと、京阪神等からの観光客や南紀白浜空港の利用者の増加が期待できます。また、災害時に法面の崩壊等が発生した場合であっても、片側 2 車線を対面通行にすることにより、通行止め期間の短縮が可能となるなど、道路機能の維持・強化にもつながります。

12月26日には、完成式典が田辺市で開催され、二階俊博衆議院議員をはじめとする国会議員の皆さんや鈴木太雄副議長をはじめとする和歌山県議会議員の皆さん、そして、関係市町村により構成される近畿自動車道紀勢線有田南紀田辺間整備促進協議会の皆さんや国土交通省の村山一弥道路局長、西日本高速道路株式会社（NEXCO 西日本）の前川秀和代表取締役社長といったこれまで御尽力いただいた多くの方々にお集まりいただき、長年の悲願であった 4 車線の完成を祝いました。

県では、4 車線化された高速道路を最大限活用し、IT 企業の誘致による新しい産業の創出など、本県の発展に向けて様々な施策に取り組んでまいります。



完成式典の様子

●紀伊半島一周高速道路の実現へー串本太地道路起工式を開催ー

平成30年度に事業化され、これまで調査設計や用地取得を進めてきた串本太地道路の工事着手にあたり、12月25日、那智勝浦町体育文化会館で起工式が行われました。



1日も早い完成を願い、鍬（くわ）入れを行いました

起工式では、来賓として二階俊博衆議院議員、世耕弘成参議院議員、鶴保庸介参議院議員にも参加いただき、地元の皆さんにこれまでの御尽力に対する感謝を伝えるとともに、将来の地域の発展のため、1日も早い完成に向けて取り組んでいくことについて改めて参加者全員で決意を新たにしました。

串本太地道路は、那智勝浦町と串本町を結ぶ18.4kmの一般国道42号の自動車専用道路です。

現在、串本町から太地町までの地域は、国道42号が唯一の幹線道路ですが、越波などにより被災するリスクの高い箇所が多数存在しており、南海トラフ巨大地震の発生時には、津波により国道42号の約8割が浸水し、通行不能となることが予測されています。

そのため、串本太地道路の完成は、住民の安全と安心を確保することにつながります。また、救急医療活動においては、医療機関への搬送時間が短縮されることから、南和歌山医療センターや新宮市立医療センターといった高度な医療を提供する医療機関により多くの方を速やかに搬送することが可能となります。

そして、周辺地域には、南紀熊野ジオパークや熊野那智大社といった魅力的な観光資源が多数存在するため、アクセス性の向上により、観光客など交流人口が増えることが大いに期待でき、大きな経済効果が見込まれます。また、現在、串本町で建設が進んでいる日本初の民間ロケット発射場の周辺整備が進むことによる地域活性化も期待できます。

県としては、2025年に開催される大阪・関西万博までに紀伊半島一周高速道路



観光客をはじめとする交流人口の増加等が期待できます

を完成させるという意気込みをもって、事業推進を図るよう国に働きかけていくとともに、関係市町村や地元の皆さんの御協力を得ながら、必要な用地取得などに全力を尽くしてまいります。



紀伊半島の高速道路整備状況

●サイクリングで出会う和歌山の魅力

県及び和歌山県観光連盟では、昨年5月にナショナルサイクルルートに指定された太平洋岸自転車道やその他県内のサイクリングロードにおけるサイクリングの楽しさを知ってもらうための動画を配信しています。

是非御覧いただき、視聴後は、動画を参考として実際に和歌山でサイクリングを楽しんでいただきたいと思います。



Route.1 311km (時間：5分40秒)

太平洋岸自転車道

熊野川河口、那智の滝、ツールド熊野第3ステージの太地、鯛島、橋杭岩、潮岬、婦夫波、円月島、煙樹ヶ浜、白崎、湯浅重要伝統的建造物群保存地区、和歌山マリーナシティ、和歌浦、ゴール地点加太のモニュメント等

	Route. 2 69 k m (時間：3 分 3 6 秒) 紀の川サイクリングロード～高野山等
	Route. 3 58 k m (時間：3 分 2 1 秒) 箕島漁港～^{せんばやま}千葉山～あらぎ島 ※^{せんばやま}千葉山 有田川町にある標高約 500m の山。頂上付近には風力発電の風車がたくさん並び、ブドウ狩り園がある。麓からつづくミカン畑のつづら折りが、ツールドフランスのコースに組み込まれている山岳地帯の道のことから、「日本のラルプデュエズ」と呼ばれ、サイクリストの間では一度はヒルクライム（＝峠や山岳地帯を走ること）をしたい名所と言われている。
	Route. 4 58 k m (時間：4 分 8 秒) 熊野三山巡り 那智の滝、熊野古道大門坂、熊野速玉大社、熊野本宮大社旧社地大斎原、川湯温泉、湯の峰温泉等

< 動画掲載サイト >

和歌山県観光連盟 YouTube チャンネル「わかやま観光」

URL : https://www.youtube.com/channel/UCNW_H9_WCc-KvSqm2j1Pcrw/videos

< QR コードはこちら >



< きのくに線「サイクルトレイン」について >

県内におけるサイクリング環境のより一層の充実ときのくに線の利用促進を図るため、JR 西日本和歌山支社は、令和 3 年 9 月～11 月に自転車をそのまま車両内に持ち込めるサービス「サイクルトレイン」の実証実験を実施しました。

実証実験では、多くの方に御利用いただき、大変好評であったため、引き続き、令和4年12月末まで通年実施がされることが決まりました。

実証実験における利用者アンケートの満足度は、5点満点中平均4.5点と非常に高く、「1泊2日の行程を考える際、帰りのことを考えずに距離やルートを選択できる」、「サイクリングにおける行動範囲が広がった」といった声をいただいております。また、利用者の中には、利用時間の延長を希望する方もいらっしゃったため、平日の利用時間を実証実験時から延長した上で、通年実施を行うこととなりました。

サイクルトレインとして利用可能な列車は、きのくに線の紀伊田辺駅～新宮駅間を運行する普通列車です。利用可能な時間帯は、平日については午前9時から終電まで、土曜日と休日は、終日利用可能となっています。

県では、今後もサイクルトレインを活用したモデルコースの紹介等を行ってまいりますので、是非サイクルトレインを有効利用し、サイクリングを楽しんでいただきたいと思います。

<サイクルトレインを活用したモデルコースの御紹介>

 新宮→太地→那智勝浦 那智勝浦編 サイクルトレインに乗って ゆるゆる まちなか巡り <QRコードはこちら> 『太地町編』  『那智勝浦町編』 	<u>「サイクルトレイン ポタリングやってみ たっ 『太地町編』『那智勝浦町編』」</u> 東牟婁振興局の職員3名がレンタサイクルやサイクルトレインを利用して、太地町や那智勝浦町を自転車で巡ります。『太地町編』では、くじらの博物館に立ち寄り、イルカショーや餌あげ体験を紹介。『那智勝浦町編』では、町内の街並みやおすすめランチ、穴場の観光スポットなどを紹介します。
 サイクルトレイン じてこでGO!! 和歌山県那智勝浦町・太地町 編 <QRコードはこちら> 	<u>「サイクルトレイン じてこでGO!! 『那智勝浦町・太地町編』」</u> 新宮市在住の「セキちゃん」（東牟婁振興局職員）がサイクルトレインを利用して那智勝浦町、太地町をじてこ（自転車）で散策。一人で喋りながら、生まぐろ丼や激安カレーライスなどの「食」や弁天島、平見台園地などの「美景」を紹介します。

●和歌山電鐵貴志川線で「たま電車ミュージアム号」が運行開始しました

12月4日、和歌山市と紀の川市を結ぶ和歌山電鐵貴志川線で「たま駅長」たちをモチーフとした新車両「たま電車ミュージアム号」の運行が開始されました。

同車両は、貴志川線でこれまで運用されてきた「おもちゃ電車」

を全面改修し、完成したものの。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者の減少傾向が続いている貴志川線の永続運行を目的として、和歌山電鐵株式会社が取り組んでいる「“キシカイセイ”プロジェクト」の一環で計画されたものです。改修にあたっては、クラウドファンディングや全国からのサポーターの方々の支援を募り、また、県、和歌山市及び紀の川市も一緒になって支援を行いました。



乗車するだけで楽しむことができる車両が完成しました

車両は、外装、内装ともにシックな黒を基調としており、777もの「たま駅長」や「ニタマ駅長」、「よんたま駅長」のイラスト・写真やオブジェが使用されています。また、たま駅長の鳴き声ができる木製のからくりやゆりかご、子供が遊ぶことができるキッズスペースなども整備されています。

県では、貴志川線の存続のため、和歌山市及び紀の川市とともに、平成28年に和歌山電鐵株式会社と貴志川線存続に関する基本合意書を締結し、設備整備に対する支援を行っており、また、「いちご電車」などのユニークな電車を利用した観光プロモーションや地域の各自治会に対する利用の働きかけも行っているところです。今回の「たま電車ミュージアム号」が、貴志川線の利用者の増加につながることを大いに期待するとともに、県としても引き続き貴志川線を支援してまいります。

「たま電車ミュージアム号」をはじめとする各電車の利用については、和歌山電鐵株式会社のホームページを御確認ください。

和歌山電鐵株式会社のホームページ

URL : <https://www.wakayama-dentetsu.co.jp/>

DESIGNED BY EIJI MITOOKA + DON DESIGN ASSOCIATES



●声優の中島由貴さんが「和歌山県ふるさと広報大使」に就任しました

令和元年6月より「和歌山県ふるさと広報局員」、令和2年9月からは、「和歌山県ふるさと広報局長」として活動いただいている和歌山県出身の声優・中島由貴（なかしま ゆき）さんが、12月27日、「和歌山県ふるさと広報大使」に就任（昇任）しました。



中島由貴さんと知事

中島さんは、幼少からジュニアモデルとして活躍する傍ら、子役としてCM、ドラマなどに出演。平成26年に開催された声優オーディションで3,000名の応募の中からグランプリを受賞し、声優デビューをしました。現在は、声優のみならず、歌手、バンド活動、タレント活動など、多方面で活躍されており、ツイッターのフォロワー数は29万人を超えています。

中島さんには、和歌山県ふるさと広報局員に就任後、自身のツイッターや出演メディアなどで和歌山県をPRしていただいております。県食品流通課の公式YouTubeチャンネル「Tasty Healthy Wakayama」では、あらかわの桃をはじめとする県産品の紹介もしていただいております。また、去年の「紀の国わかやま文化祭2021」の開催にあたっては、スペシャルインフルエンサーとして文化祭のPR映像への出演や広報誌に登場いただくなど、文化祭の情報や魅力の発信にも御尽力いただきました。

県では、情報発信力が高い中島さんの御協力をいただきながら、これからも和歌山県の魅力をより多くの方に伝えてまいります。

●南紀熊野ジオパーク講演会「陸と海の回廊—南紀熊野ジオパーク」を配信しています

南紀熊野ジオパーク推進協議会では、南紀熊野ジオパークの魅力を多くの方々に知っていただくため、講演会を開催しています。

12月19日に開催された講演会には、海洋研究開発機構（JAMSTEC）の顧問であり、南紀熊野ジオパーク推進協議会の名誉顧問でもある平朝彦さんを講師に迎え、「陸と海の回廊—南紀熊野ジオパーク」をテーマに講演をしていただ

きました。講演では、海洋地質学の視点から南紀熊野ジオパークの大地の成り立ちや地質についてお話していただくとともに、平さんがプロジェクトリーダーとして関わってきた地球深部探査船「ちきゅう」と地震・津波観測監視システム「DONET」を活用した南海トラフ巨大地震の発生メカニズムに関する調査内容などについても併せてお話しいただきました。



南紀熊野ジオパークの大地の成り立ちなどについてお話しいただきました

本講演内容については、令和4年2月末まで、南紀熊野ジオパークのホームページで配信していますので、是非御覧ください。

講演動画につきましては、下記ページにおいて、令和4年2月末まで公開されています。
南紀熊野ジオパークホームページ

URL : <https://nankikumanogeo.jp/event/20211219koenkai/>

●四十住さくらさんにスポーツ栄誉賞をお贈りしました

県では、和歌山県のスポーツ水準の向上及びスポーツの振興に貢献し、その功績が著しい個人又は団体に対して、和歌山県スポーツ賞をお贈りしています。

このたび、東京2020オリンピックのスケートボード競技「パーク」種目において、金メダルを獲得した四十住さくらさんに最高賞であるスポーツ栄誉賞をお贈りいたしました。



四十住さくらさんと知事

スポーツ栄誉賞は、これまで、日本人女性で初めてオリンピックで金メダルを獲得した兵藤（前畑）秀子さんや2016年リオデジャネイロオリンピックの体操競技で金メダルを獲得した田中佑典さんなどが受賞しており、四十住さくらさんは、10人目の受賞者となります。

新型コロナウイルス感染症の影響がある中であっても、努力を怠らず競技力の維持・向上に努められ、金メダルを獲得された姿は、多くの県民に夢や感動を与えてくれました。四十住さくらさんには、国内外での活動を通して更なる技の習得に努めていただき、2024年に開催されるパリオリンピックにおいて2連覇を果たされることを大いに期待しています。

●和歌山県花を愛する県民の集い大会が開催されました

「和歌山県花を愛する県民の集い」は、昭和55年に県議会議員であった二階俊博衆議院議員が「花とみどりに彩られた郷土づくり」を実現するために設立された団体であり、素敵な花壇等の写真を募集する花いっぱいコンクールの開催、また、花や緑に親しんでいただく契機となるようハンギングバスケット教室や寄せ植え教室の開催などを行っています。



県内において花を育てる文化が広がっています
(海南市立巽小学校)

12月18日に開催された大会では、知事より、和歌山県花いっぱい運動推進功労者と花いっぱいコンクールの和歌山県知事賞受賞者の方々に感謝状や表彰状をお贈りしました。

今年度の花いっぱいコンクールには、昨年度の114点を上回る126点の応募があり、また、令和3年9月には、全国で取り組まれている花のまちづくりに係る優秀な活動を顕彰する「第31回全国花のまちづくりコンクール」において、全国の応募総数1,031点の中から、みなべ町立高城^{たかぎ}小学校が、最高賞である「花のまちづくり大賞 文部科学大臣賞」を受賞するなど、県内において花を育てる文化が広がっています。

昨年開催された「紀の国わかやま文化祭2021」や11月22日の「和歌山県誕生150年」に向けて行われた花いっぱい運動には、多くの方に参加いただき、花が咲き誇るまちで、来県者の皆さんを「おもてなしの心」をもって温かくお迎えすることができました。今後も、県内で緑を広げる活動が活発となることを大いに期待しています。



花いっぱい運動推進功労者及び和歌山県花いっぱいコンクール受賞者の

皆さんと知事

令和３年度和歌山県花いっぱい運動推進功労者知事感謝状被贈呈者一覧（敬称略）

団体名（代表者名）	主な功績
きらり会 （露久志 恵美子）	紀の国わかやま国体（平成２７年開催）のなぎなた大会会場であった九度山文化スポーツセンター周辺で、プランターの設置や周辺の美化活動を積極的に行い、多くの来場者や道行く人の目を楽しませた。また、九度山駅から九度山町給食センターにかけての勾配の急な坂道の沿道にマリーゴールドをはじめとする四季折々の花や桜の植栽を行っている。そして、植栽活動と併せて周辺道路の草引きや美化活動（ゴミ拾い）も継続的に行っており、地域美化のために多大な貢献をした。
明神クラブ （西本 とよ子）	老人会として、サロン活動や地域の清掃活動、登下校の見守り等の活動を行うとともに、道路沿いの空き地を花壇に整備し、地域の美化活動を行っている。また、ＪＲ広川ビーチ駅脇の雑木林を花壇に整え、住民だけでなく観光客の目も楽しませるなど、地域の美化や活性化に多大な貢献をした。
家庭連合花の会 （横矢 吉見）	平成２６年より毎月１回、国道４２号線田鶴交差点の花壇（面積約１,０００㎡）の花植え、除草、清掃等を行い、地域の美化活動を実践している。四季折々の花を植栽することで、交通量の多い国道を行き交うドライバーや観光客といった方々の目を楽しませており、花のある豊かな環境づくりに多大な貢献をした。

※上記被贈呈者のほかに、「一般社団法人日本ハンギングバスケット協会和歌山県支部」、「長原北まちおこしねっと」、「とびやま花しょうぶ園」、「中屋敷花いっぱい会」に和歌山県花を愛する県民の集い会長から感謝状が贈られています。

第２５回和歌山県花いっぱいコンクール最優秀賞・知事賞受賞者一覧（敬称略）

受賞部門	学校名／団体名／氏名
学校の部	海南市立巽小学校
職場・地域の部	下里とも子ガーデン
家庭の部	森 千明

※同コンクールにおいては、上記受賞者のほか、５校６団体６名が入賞されています。
各受賞者の詳細は、下記ページに掲載しています。

第２５回花いっぱいコンクール入賞者紹介（県民生活課ホームページ内）

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/d00205741.html>

●令和３年度和歌山県技能賞及び和歌山県青年技能賞の受賞者を決定しました

県では、県内の優秀な技能者を表彰することにより、広く県民に対し、技能尊重の気運の醸成を図るとともに、技能者の地位及び技能水準の向上を図ることを目的として和歌山県技能賞及び和歌山県青年技能賞の表彰を行っています。

今年度は１２月２０日に表彰式を開催し、１２名の方に知事から表彰状をお贈りしました。受賞者の皆さんの受賞を心よりお祝いするとともに、今後ますますの御活躍を願っております。それぞれの賞の受賞者及び受賞者の経歴は以下のとおりです。



受賞者の皆さんと知事

和歌山県技能賞：１０名

１５年以上の実務経験を有し、満３５歳以上の優秀技能者（敬称略・順不同）

氏名等	経歴
かわはら か ず こ 河原 佳珠子 ６５歳 (フラワー装飾) 勤務先：株式会社花安（和歌山市）	入社以来、技能研鑽に励み、数々のコンテストに入賞。独自のフラワーアレンジメントを考案し、講習会の講師も務める。１級フラワー装飾技能士の資格をもつ。
たまき とくいち 玉置 徳一 ６１歳 (左官) 勤務先：玉置左官（日高川町）	左官技能の向上に努め、国宝や重要文化財の修復工事に優れた技術を発揮している。また、技能伝承のため、後継者育成に取り組んでいる。１級左官技能士の資格をもつ。
はぎはら こうじ 萩原 弘治 ５７歳 (製竿師) 自営（橋本市）	伝統工芸士として独自の技法により優れた竹竿を製作している。また、積極的に若手製竿師育成にも取り組んでおり、多くの製竿師から慕われるなど業界に貢献している。
たえなか のぶゆき 妙中 伸行 ５５歳 (織布工) 勤務先：妙中パイル織物株式会社（橋本市）	入社以来、織布工としての技能を磨き、特許を取得する新商品を開発してきた。また、後継者育成にも積極的に取り組むなど、業界の発展に大きく貢献している。

氏名等	経歴
もりた かずのり 森田 和則 54歳 (塗装工) 勤務先：森田塗装店（和歌山市）	業務に従事する中、常に技術向上に努め、建築塗装作業と鋼橋塗装作業の2つの1級技能士の資格を取得。積極的に講習会講師を務めるなど人材育成に取り組んでいる。
きむら やすゆき 木村 泰之 52歳 (機械加工) 勤務先：株式会社島精機製作所（和歌山市）	コンピュータ横編機の製造及び組立調整業務に従事する中、技能を磨き、1級機械組立技能士の資格を取得。後進の技能グランプリ出場選手などの指導にも取り組んでいる。
こじま ひろき 児島 宏紀 50歳 (造園工) 勤務先：児島造園（湯浅町）	1級造園技能士をはじめ、造園に必要な資格免許を数多く取得。また、講習会の講師を務めるなど若手育成に貢献している。 平成23年台風12号災害復旧工事に貢献し、知事表彰を受賞
はやみず やすあき 早水 康朗 48歳 (内装仕上工) 勤務先：インテリア早水（紀の川市）	内装施工業務に従事する中、技術向上に努め、内装仕上げ施工と表装の2つの1級技能士の資格を取得。高校生に実技指導を行うなど、人材育成に貢献している。
あおまつ なおひと 青松 直仁 47歳 (塗装工) 勤務先：株式会社青松（御坊市）	塗装工として技術向上に努め、建築塗装作業と鋼橋塗装作業の2つの1級技能士の資格を取得している。平成23年台風12号災害復旧工事に貢献し、知事表彰を受賞
よしかわ しのぶ 吉川 忍 44歳 (塗装工) 勤務先：吉川塗装株式会社（和歌山市）	建築塗装作業と鋼橋塗装作業の2つの1級技能士の資格を取得。優秀施工業者として国土交通省局長表彰を受賞。技能競技大会出場選手などの後進指導に取り組んでいる。

和歌山県青年技能賞：2名

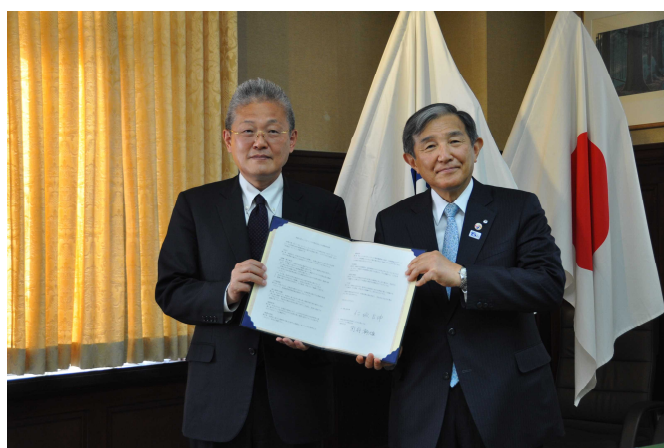
7年以上の実務経験を有し、満35歳未満の優秀技能者（敬称略・順不同）

氏名等	経歴
うえだ しょうた 上田 章太 32歳 (ガラス施工) 勤務先：株式会社コムラ（和歌山市）	1級ガラス施工技能士の資格を有し、他社では施工が難しい大板のガラスを正確かつ迅速に施工することができる。後進を指導するなど若手リーダーとして活躍している。

氏名等	経歴
やまげき しゅう や 山関 秀 弥 30歳 (溶接工) 勤務先：株式会社坂口製作所和歌山工場（有田川町）	アルミ・ステンレス溶接において正確かつ迅速な溶接技術を有し、多くの資格を有している。社内における複雑な溶接を一手に担い、社外コンテストにおいて優勝するなど活躍している。

●コニカミノルタ株式会社と県内自治体の行政事務の効率化に関する連携協定を締結しました

長期化するコロナ禍で人々の働き方、暮らし方が大きく変わり、昨年9月にはデジタル庁が設置されるなど、行政のあり方を全面的に「デジタルを前提としたもの」へと移行するデジタルトランスフォーメーション（以下、「DX」という。）を推進することが不可欠となっており、県では、県内市町村を含む行政のあらゆる分野において、DXを強力に推進するため、DX推進本部を立ち上げ、様々な課題に取り組むこととしています。



行政のデジタル化による効率的な行政運営を目指します

そうした中、行政デジタル化の取組の第一歩として、行政事務の効率化に係る連携協定をコニカミノルタ株式会社と締結しました。今後、同社の協力を得て、県と希望する県内市町村において業務量・業務の種類を定量的に把握する調査を行い、業務プロセスの可視化及び業務改善に向けた課題の抽出・分析並びに課題解決に向けた検討を行います。

県では、本協定を契機に、効率的な行政事務の確立による県民サービスの向上を図るため、市町村と一体となってDXを推進してまいります。

●第1回わかやまネットフォーラムを開催しました

近年、インターネット利用者の低年齢化が進み、インターネットの長時間利用による生活への影響やSNSに起因する青少年の犯罪被害といった問題が指摘されています。

県では、インターネットの利用問題について地域の青少年と大人が共に考え、さらに社会全体で課題を共有することにより、より良いインターネット利用環境を構築することを目的として、わかやまネットフォーラムを開催しました。

本フォーラムでは、県内の青少年が回答したインターネット利用に関するアンケート結果を踏まえ、ワークショップや情報モラル教育等に関する講演、また、子供たちと大人のパネリストによる「ネットの良いところ・悪いところ」や「親・学校・行政・自分に対する提言」をテーマにしたパネルディスカッションを実施しました。

県では、今後もこのようなフォーラムを開催することにより、青少年のインターネットの適正利用を推進してまいります。



子供たちと大人のパネリストがインターネットの適正利用方法等について意見交換を行いました

ネットフォーラムの内容につきましては、下記ページにおいて令和4年2月末まで配信されています。

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=vQxCC0xo4uk>

お知らせ

●公開シンポジウム「大王墓と紀伊の首長墓」―百舌鳥・古市古墳群と岩橋千塚古墳群に映し出された政治と社会―を開催します

県と堺市は、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」と特別史跡「岩橋千塚古墳群」の価値と魅力を全国に発信するため、古墳シンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、日本の古墳時代研究を牽引する考古学研究者の皆さんが、大王家一族とそれに従う中央豪族が築いたと考えられる「百舌鳥・古市古墳群」と紀伊の有力豪族である紀氏が築いたと推定されている「岩橋千塚古墳群」を比較し、古墳時代の歴史や文化、ヤマト王権と近隣地域の関わりや各地の地域性などについて、講演及び討論を行います。

古墳や古墳が築かれた当時の歴史文化に関する知識を深める絶好の機会ですので、是非参加又は視聴をお願いします。

1. 日時及び会場等

日時：令和4年2月13日（日）12:15～16:30（11:30 開場）

会場：有楽町よみうりホール（東京都千代田区有楽町1丁目11-1）

募集人数：定員950名（先着申込順）

参加費：無料

その他：新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止・変更になる場合がありますので、予め御了承ください。

2. 内容 ※講師の敬称略

講演1「世界史における日本の古墳」

松木武彦（国立歴史民俗博物館教授）

報告1「百舌鳥・古市古墳群」

十河良和（堺市世界遺産課長）

報告2「岩橋千塚古墳群」

丹野拓（和歌山県立紀伊風土記の丘学芸課長）

講演2「5世紀から6世紀の古墳群からみた政治と社会」

和田晴吾（兵庫県立考古博物館館長）

講演3「5世紀から6世紀の埴輪と儀礼」

辰巳和弘（元同志社大学教授）

トークセッション

パネリスト：和田晴吾、辰巳和弘、中村浩道（和歌山県立紀伊風土記の丘館長）

コーディネーター：松木武彦

内容：講演内容を基に両古墳群の特徴と位置づけについて討論

両古墳群の関係を政治、儀礼、技術的側面から掘り下げ、その魅力を発信する。

※会場ロビーにて、両古墳群のパネル展を開催

3. 参加申込みについて（先着申込順・定員になり次第終了します。）

（1）申込受付期間：令和4年1月17日（月）～令和4年2月10日（木）

（2）申込方法：堺市電子申請システム

以下のURLまたは右記QRコードよりお申込みください。

堺市電子申請システム URL

<https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/rekishi/sei/index.html>



<申込サイトQRコード>

4. ライブ配信について

事前申込みは不要です。開催日当日に「和歌山県立紀伊風土記の丘 YouTube チャンネル」にアクセスし、御覧ください。

「和歌山県立紀伊風土記の丘 YouTube チャンネル」

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCTa8FgCWS56Dx5Jt9B4ea8Q>



岩橋千塚古墳群(大日山 35 号墳)から出土した埴輪（重要文化財）

両面に顔を持つ人物埴輪や翼を広げた鳥形埴輪は全国的にも非常に珍しい資料であり、古墳墳丘上での儀礼の実態を考える上でも、高い学術的価値をもちます。

●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトを御利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品のうち、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。
和歌山県では、「元氣な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



誇る優良産品（プレミアム和歌山）を是非御堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますようお願い申し上げます。

各ポータルサイトの QR コードはこちら

ふるさとチョイス



ふるなび



ANA のふるさと納税



ふるラボ



JAL ふるさと納税



***** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては *****

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 森本、宮田、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

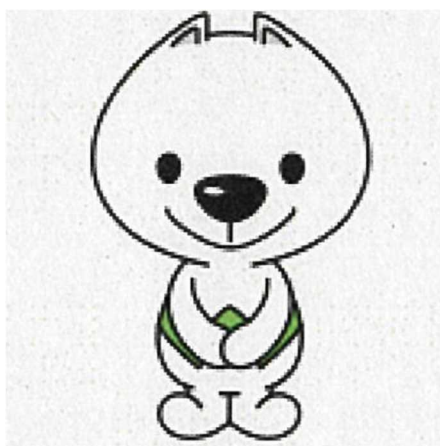
都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059



ふるさと和歌山応援寄附への
御協力よろしく申し上げます。

● 朝日放送テレビ「おはよう朝日です」で紹介されました



ABCテレビ「おはよう朝日です」が和歌山県とコラボレーション！

コラボ返礼品の申込受付は

2022年1月31日まで

和歌山県の返礼品はすべて優良県産品（プレミアム和歌山）の中の選りすぐりの一品です。そのプレミアム和歌山認定商品である「紀州和華牛」と「梅干」が、朝の情報番組「おはよう朝日です」の新しい名物をつくる“ふるさと応援隊”コーナーで特集されました。

全3回の放送を通じて「紀州和華牛」や「梅干」の魅力を取り上げつつ、ミシュランシェフが「紀州和華牛」と「梅干」を掛け合わせたレシピを考案しました。完成した新しい名物は、ふるさと納税の返礼品として、最終回放送後からポータルサイト「ふるラボ」にてお申込みできます。

過去の放送もこちらから見られますのでぜひチェックしてみてください。

■ 第1回放送 ■



■ 第2回放送 ■



■ 第3回放送 ■



ふるラボ 限定

ミシュランの星付きシェフが
考案したレシピの
豪華3点セット!

紀州和華牛 × 梅干し × ミシュランシェフレシピ

I312【おは朝とコラボ】紀州和華牛モモ肉&紀州南高梅大粒白龍梅&ミシュランシェフ・澤田氏考案 おうちで楽しめる中華レシピ



【詳細・申込はこちら】



(注) 受付は 2022/1/31
までとなります。

I313【おは朝とコラボ】紀州和華牛肩ロース&紀州健康梅自然干し&ミシュランシェフ・鈴木氏考案 おうちで楽しめるアレンジしゃぶしゃぶレシピ



【詳細・申込はこちら】



(注) 受付は 2022/1/31
までとなります。

I314【おは朝とコラボ】紀州和華牛ロース&勝喜梅はちみつ仕立て「極」&ミシュランシェフ・手島氏考案 おうちで楽しめるフレンチレシピ



【詳細・申込はこちら】



(注) 受付は 2022/1/31
までとなります。

- ふるさと納税サイト「ふるラボ」限定の返礼品となります。
- ・お支払方法は「ふるラボ」内のクレジットカード決済のみです。
- ・他のふるさと納税ポータルサイト、寄附申出書及び郵便払込票による申込は受付しておりません。

●申込受付は **2022 年 1 月 31** までとなります。



●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

1 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】 新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。 	8 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援 和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。 理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円支援します。 
2 生涯スポーツ・文化の振興 全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。 - ワールドマスターズゲームズ2021関西 - 国民文化祭 - 全国障害者芸術・文化祭 - 全国高等学校総合文化祭 各大会等の開催をすすめます。 	9 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実 和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。 - 県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。 - 県立図書館の蔵書の充実をすすめます。 
3 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】 各学校において、「学習環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。 母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。 	10 わかやまの美しい海づくり 黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。 - 白良浜海水浴場 - 片男波海水浴場 などの砂浜の整地をすすめます。 
4 がん対策の充実 和歌山はがんで亡くられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。 - 所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。 - 若年がん患者の方に対して、生殖機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。 	11 わかやまの文化財の保護 和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。 - 湯浅の歴史的なまちなみの修理・修景を支援します。 - 和歌山市・本ノ八幡神社本殿の保存修理をすすめます。 
5 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援 和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。 これまでの活動で約3,900匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約1,600匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。 	12 大切なふるさとの森を守り育てる 和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や渇水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。 和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。 
6 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用 和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。 - 参詣道の維持管理・パトロールを行います。 - 世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。 	13 わかやまのナショナル・トラスト 和歌山は、みどり豊かな山々と雄大なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。 県民の公有財産として末永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。 
7 南紀熊野ジオパークの推進 令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。 南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。 	14 わかやまの農林水産業の振興 和歌山県の農林水産業は、地域経済や雇用を支える重要産業であり、食料供給や自然・景観保全など、様々な役割を果たしています。大切な農林水産業を振興し、次の世代に引き継いでいきます。 - 農林水産業の担い手の確保・育成対策を充実させます。 - 農林水産業の生産性の向上をすすめます。 - 農林水産業の魅力を国内外へ発信します。 

※ 充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
 ※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

イベント情報(1月下旬～2月中旬)

※掲載の情報は、令和3年12月末時点のものです。
最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。

開催日	行事名	場所	問い合わせ先
1月24日	子安地藏寺初法会	子安地藏寺	子安地藏寺 0736-32-1774
1月25日	初天神	和歌浦天満宮	和歌浦天満宮 073-444-4769
1月25日	天満神社初天神	学文路天満宮	学文路天満宮 0736-32-5582
2月6日	御燈祭り ※本年は上り子の入山を禁止し、神社関係者のみで神事を斎行	神倉神社	新宮市観光協会 0735-22-2840
2月8日	針供養	淡嶋神社	淡嶋神社 073-459-0043
2月12日	水門祭 ※本年は祭典のみ執り行われます。	水門神社、大島港ほか	南紀串本観光協会 0735-62-3171

自然・風物情報(1月下旬～2月中旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
1月29日～ 2月27日 ※開花状況等により変更する場合あり。	南部梅林開園	南部梅林	梅の里観梅協会 ※開園期間中のみ 0739-74-3464 みなべ観光協会 0739-74-8787
1月下旬	「蔵出しみかん」初出荷	海南市下津町	JA ながみね 073-482-6131
1月下旬	キンカンの収穫始まる	串本町紀伊大島	JA 紀南 0739-23-3450
2月11日～ 3月6日	紀州石神田辺梅林開園	田辺市上芳養 字石神	紀州田辺観梅協会事務局(田辺市観光振興課内)。 0739-26-9931
2月中旬	オガタマノキの花見頃	新宮市・熊野速玉神社	熊野速玉大社 0735-22-2533

～編集後記～

新しい年を迎え、松の内も過ぎましたが、みなさまいかがお過ごしですか。改めまして、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

今年の3が日は少し寒かったですが天気も穏やかで、コロナウイルス対策をされてお出かけされた方もいらっしゃるのでしょうか。

お出かけといえば、先日、和歌山電鐵貴志川線を走る企画列車「たま電車ミュージアム号」に乗ってまいりました。豪華な漆黒の外装に包まれた電車は、まるで絵本の中の世界に迷い込んだような感じがします。電車内は、いろいろな表情のたま駅長、ニタマ駅長、よんたま駅長のイラストが床から天井まで777も描かれていて、たまファミリーワールド全開です。見とれているうちにあっという間に時間が経ち、終点和歌山駅に到着しました。猫の鳴き声がする木製のからくりや小さなお子さんのための落書きスペースもあって楽しそうにお絵かきする姿がとてもかわいらしく印象的でした。猫の駅長の代表格として活躍し、今なお多くのファンのみなさんに愛される「たま駅長」は、この度就任15周年を迎えました。「ニタマ駅長」は就任10周年を迎え、和歌山県勲侯爵、そして社長代理としてもがんばってくれています。多くのみなさまにこの「たま電車ミュージアム号」にご乗車いただき、「ニタマ駅長」にもお会いいただければ幸いです。



みなさまに新年最初の和歌山だよりをお届けしました。
今年も和歌山の「今」をお知らせする旬の話題を取り上げてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

この一年が、みなさまにとって幸せな年となりますように
お祈りいたします。毎日寒い日が続きます。みなさま、くれぐれも体調にお気をつけください。

知事室 秘書課長 西山 雅美

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますのでぜひ御覧ください。

和歌山だよりに対する御意見・御感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報を御提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。



2022年(令和4年)1月 NO.165

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026